

図4. 年代別生存率（生体腎）

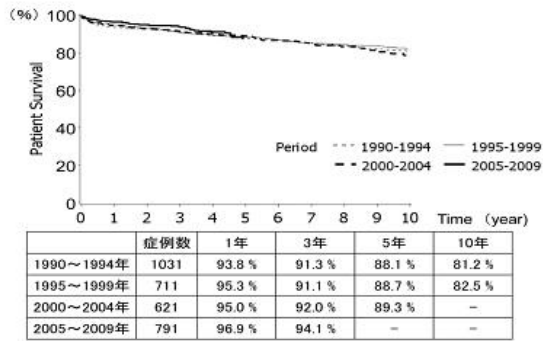


図5. 年代別生存率（献腎）

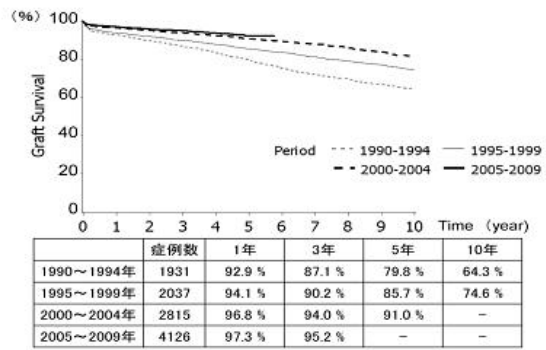


図6. 年代別生着率（生体腎）

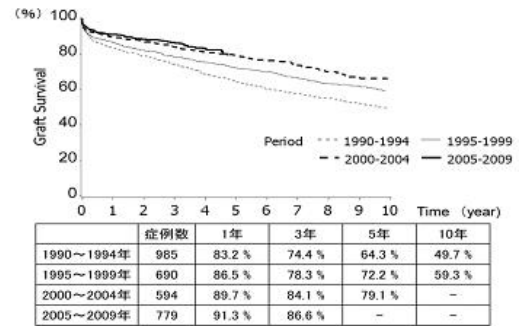


図7. 年代別生着率（献腎）

図2. 本邦の生体腎移植，献腎移植後の年代別患者生存率

図3. 本邦の生体腎移植，献腎移植後の年代別腎臓生着率

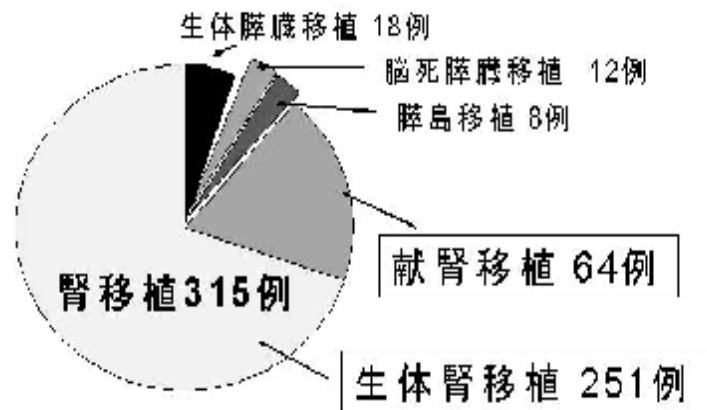


図4. 移植臓器の353例の分布

国立病院機構千葉東病院内科・臨床研究センター（2004.4-2012.6）

どのような方が腎移植を受けているのでしょうか。図5に千葉東病院の腎移植患者の原疾患を示します。慢性糸球体腎炎、糖尿病性腎症、IgA腎症が多く、この3つの疾患で全体の7割弱を占めますが、その他にも腎不全の原疾患のほとんどが適応となります。現在では腎不全患者さんすべて

私の昨年8月まで勤務していた国立病院機構千葉東病院では、私の赴任した2004年4月から2012年8月まで腎移植315例を含め、353例の移植症例を実施しました(図4)。腎移植315例のうち、251例(約80%)が生体腎移植でした。



図5. 腎臓移植の原疾患

国立病院機構千葉東病院内科・臨床研究センター（2004.4-2010.6）